



ゆるくん

ポニー

もう一つは、接客面の評価。納見園長によると、ネットには「スタッフが優しい」「親切」との書き込みが見られるという。特段のマニュアルはなく、「親せきが遊びに来た時のような対応をしよう」と呼び掛けている。

中でも、特徴的なのは、手が空いていたら、職員が子どもたちと一緒に遊んでしまう点だ。園長も「子どもと遊ぶ遊園地は、なかなか他にはないと思います」と自信ありげ。

“マニュアルのないおもてなし”

「ここはゆるい遊園地なんですよ」と声をかけてきたのは園長の納見浩司さん（45）。受けている理由は「二つあるのでは？」と説明してくれた。

一つは、「ただ乗っているだけではつまらない」ということで、スタッフが知恵を絞って遊園地内の乗り物にいろんな仕掛けをしていること。

例えば、「ミニジェットコースター」のコース沿いには、佐賀市出身のイラストレーター326さんが描いたキャラクター「ゆるくん」が隠れており、それに乗っている間に探してみようという遊びだ。ジェットコースター自体は、回転もひねりもないので、小さな子どもでも楽しめる。

“人気の秘密は2つ”

“知恵とSNSで活路”

株式会社ハウツ（本社・三養基郡基山町）が佐賀市観光協会から受託して運営を始めたのは2007年4月。老朽化していた観覧車を撤去し、新しい乗り物を設置するなどリニューアルを進めた。

さまざまな仕掛けをすることにも、ホームページを充実させ、ツイッター、フェイスブックなどもスタート。やがてSNS上で話題になるようになり、人気が出始めた。ハロウィン、クリスマスなど季節ごとのイベントも展開している。

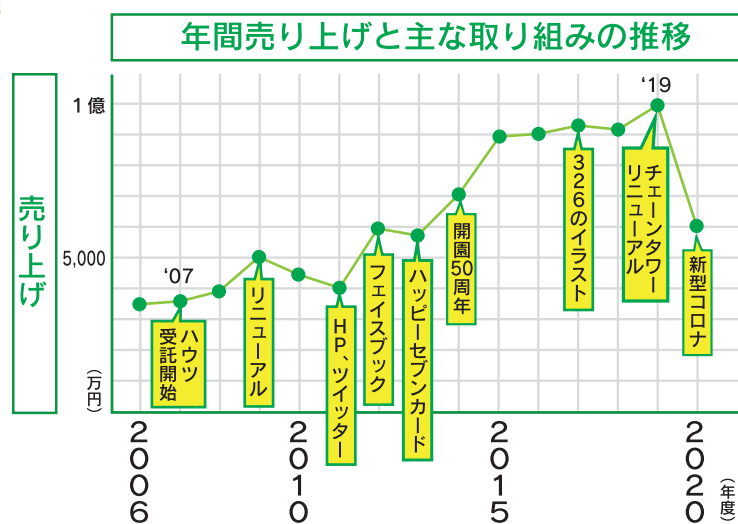


観覧車を撤去した跡地に新設した。ピヨーンと上がった時に、イラストの間違い探しができる

フロッグジャンピング

“売り上げは2.5倍に”

こじんまりとしていて、最新の遊具もないけれど、園内には笑顔と優しさが満開。小さい子どもを連れた保護者には、敷地のコンパクトさも、「目が行き届く」と、逆に受けている。売り上げは2019年度9735万円で、受託前の2006年度3794万円の2.5倍に伸びた。



私こと、MOTEMOTEが編集長が週末、久しぶりに佐賀市神園にある『神野公園こども遊園地』の前を通ると、幼児らで大にぎわい。以前、近くに住んでいた時は閑散としていたイメージだったけど、一体何が起った？編集部内で話題になると、近所に住んでいるスタッフも「最近はいつものそんな感じですよ」。でも、肝心の大にぎわいの理由は分かんない。そこで、今回の特集では、そのこども遊園地取材しました！！

ミニジェットコースター

特集 神野公園こども遊園地が大にぎわい!!

ぬくもりが受けている
ゆる～い遊園地

トリプルビッグスライダー



無料といえどもあなどることなかれ！急降下、トンネルを抜けるスリルがたまらないビッグスライダー（3つの大きな滑り台）は子どもたちに大人気なのだ。

こども遊園地は、開園から半世紀以上が過ぎた、ちよっとレトロで懐かしい雰囲気の、小さい子ども向けの遊園地。取材で行ってみると。おっと!! 入園口が開放されています。スタッフの姿はありません。通常ならチケット売り場があるはず。キョロキョロとしていると、ありました、園の奥の方にチケット売り場が。

聞いてみると、入園するだけなら無料。お弁当、飲み物も持ち込み自由。滑り台やブランコなど無料の遊具で遊び、持参したお弁当を広げれば、一日、ただで遊べるのだそう。



チケット売り場

“レトロで懐かしい”

人気の遊具たち

手づくりの 仕掛け満載



スカイダンボ 動物ルーレット

小さな子どもが大好きなダンボの乗り物「スカイダンボ」。親子で乗って楽しめる。ここの仕掛けは「動物ルーレット」。周回コース沿いに19種類の動物の絵が掲示されている。乗る前にくじを引いて当たった動物の前で止まったら「当たり」。ラムネがもらえる。



回転ボート すくいかごで魚とり



子どものころ、お風呂に鳥や魚の人形を浮かべて遊んだりした記憶はだれにでもあるはず。こんなことがヒントになったか、プールにたくさんのおもちゃの魚を浮かべて、すくいかごですくってもらうようにしたら、これが大受け。1回で30匹以上、すくう子もいる。「小学高学年でも大喜びでやっていますよ。取った魚はリリースしてもらいます」と園長。

チェーンタワー 空中さんぽ

ブランコに乗って遠心力で回る乗り物で、大空を飛んでいるような気分が味わえる。回転中に脳トレクイズのパネルをスタッフが掲げて答えてもらう。



326さんも
ここで
大きくなった



子どもたちの人気者



ひではる ピエロの中山秀晴さん (70)

「大きなシャボン玉越しにお子さんの写真を撮れる、世界で唯一、こども遊園地だけの写真ですよ～」ピエロの格好をした中山秀晴さんがシャボン玉を作り始めると幼児が両手を広げてよちよちと近づいて行った。

福岡県出身。父がサーカスのゾウを使う曲芸師で、4歳までは巡業で全国を巡っていた。記憶は定かでないが、小さいころから「ピエロになりたい」と答えていたと聞かされた。60代後半まで営業の仕事をして、2年前からこの遊園地で働き始めた。

1日2.5kgも体重が減る。だから、日中は4リットルの水を飲み、食事もしっかり取るようにしている。重労働だが、「めっちゃ楽しい。こんなに素晴らしい子どもたちの笑顔と出会える仕事なんてありませんから」



ピエロの中山さんは「感染症対策」の背負いピラをして、新型コロナウイルスの感染症対策への協力を呼び掛ける
※HPや園内各所にも対策を掲示している

スペースカー サムライ気取り



中央の回転軸周辺から飛び出してくるシャボン玉を、おもちゃの剣で割って楽しむ。結構、夢中になるらしい。

SL体験 してみました！

まるでサファリパーク!?



カ メラマンと一緒に、SL(汽車)に体験乗車させてもらった。最初は二組しか乗っておらず、そろそろ出発か?と思っていると、フリーパス券などを持った親子が乗ってきたりして、なかなか出発しないが、みなさん、のんびりと待っている。

「これから園内をぐるっと一周して参りまーす」と運転士のお兄さんが太い声と汽笛を響かせてシュッパーツ!!

まずはトンネル。「大変狭くなっていまーす!! 手足、お顔は出さないようにお願いしまーす」とお兄さんが注意する。

お楽しみは、コース沿いの壁や木の上などにライオン、コアラ、パンダなど17の動物のフィギュアが隠れており、それをお兄さんが出すヒントを聞きながら見つけること。「あっ、いたー」などとかわいい歓声が次々に上がり、約6分後、終着駅に滑り込んだ。子どもだましと思っていたものの、なかなか楽しかったというのが感想です。





納見浩司 園長

佐賀市出身。久留米高専卒。民間企業で働いた後、カナダ、ニュージーランド、オーストラリアでワーキングホリデーを経験。2011年に株式会社ハウツに就職し、神野公園こども遊園地を担当、現在に至る。

Interview

日本一心温まる遊園地に

「この遊園地に着任したときの印象を。」

にぎわってはいなかったけど、こういう世界は初めてなので不自然とも思いませんでした。

「始めたことは？」

海外を巡ってきたおかげか、固定観念があまりなくて、倉庫に眠っているものを見ながら、お金をかけないでどうやったら子どもたちを喜ばせられるだろうかと考え、試しています。

「遊園地の特長を教えてください。」

遊園地は、1〜2歳くらいの子どもが乗れない遊具が多いんですが、うちがフロッグジャンピングに身長制限があるだけで、その他は付き添いがあれば乗れます。フロッグは、バーからすり抜けて落ちる恐れがあるので、身長1m以上の制限をしています。

「これからの目標は。」

日本一、心温まる遊園地を目指したい。スタッフが来園者の気持ちにくみ取って動く、それが大事ですね。

「お得な楽しみ方がありますか。」

平日限定ですが、1000円で好きな大型遊具に7回乗れる「ハッピーセブンカード」はいかがでしょう。未就学児なら、保護者と一緒に乗れます。1回ずつ別の遊具に乗れば、7つの遊具を楽しめます。

「お客さんはどこから。」

コロナ前の週末は佐賀県内30%、県外70%でした。交通の利便性がいいため、福岡市も商圏で、長崎、熊本、北九州からも多い。コロナが落ち着けば、さらにお客さんは増えると期待しています。

神野公園こども遊園地

住所：佐賀市神園4丁目1番3号
1964(昭和39)年開園。敷地面積 9,000㎡。

● 利用料金 … 入園料・駐車料 無料

チケット種類

フリーパス … 1人用 1,600円で9つの乗り物が乗り放題
親子用 2,000円(大人1人+小学生未満1人)で9つの乗り物が乗り放題

ハッピーセブンカード…平日限定(1,000円)は7回、好きな乗り物に乗れる。
大人1人+小学生未満1人であれば、親子で7回乗れる

その他チケット … 50円利用券/1,000円利用券

利用案内

- 休園日/火曜日(祝日の場合は翌日)、12月31日、1月1日
雨天時は臨時休園になる場合がある
- 営業時間/9時半〜17時
※12月〜2月の平日は11時〜16時
- 遊具対象年齢/主に幼児〜小学生
- 設備/授乳室、幼児用トイレ、無料遊具、売店、軽食コーナー
- 無料駐車場/160台
- スタッフ数/10代〜70代の37人
- 問い合わせ/☎ 0952(30)8461

軽食コーナー

子どもも食べられる甘口のカレーライス(500円)
やポテトフライ(300円)
などが人気という。



Twitter @kouno_ap
Instagram @kounopark
Facebook @kodomo.ap
HP http://haut.jp/kouno/

神野公園

佐賀藩十代藩主鍋島直正公の別邸として1846年(弘化3年)に造られ「神野のお茶屋」と呼ばれていた。後に佐賀市へ寄贈され、現在の神野公園として整備され、小動物園などもある。園内には江藤新平の銅像も。



[記事：高井 誠 デザイン：蒲原貴子]



アポロスター



ほんわか話

“宝物”はお礼の手紙

子どもが好きで、学校の先生を目指しているというアルバイトの田中良季さん(26)がうれしそうに見せてくれたのは、昨年の夏休み、神奈川県の5歳くらいの女の子からもらった手紙。「少し時間があつたので、一緒に遊びました。すると、一緒に写った写真とお礼の手紙を郵送してくれました。これはうれしかったですね」。スマホで写真を撮っている。



田中良季さん



神奈川の女の子からもらった手紙の写真

“1歳の誕生日にサプライズ

赤ちゃんを抱っこしたお母さん。ひととき幸せそうに見えた。納見園長が話しかけてみると、「今日、1歳の誕生日です。いつから乗れるかなあ、と思ってちょっと見に来ました」。すると、園長はニコリして「おめでとございます。どうぞSL(汽車)に乗ってくださいよ」と誕生日プレゼントを申し出た。赤ちゃんと一緒にSLの「ミニ旅」を楽しんだお母さんの目から涙が…

予定を変更して

大阪から九州一周旅行中の家族連れ。唐津に泊まって、明日は福岡へ向かうという。ところが、次の日。遊園地内で元気がいっぱい遊んでいる昨日の家族に再会した。「どうしたの?」と尋ねると、「子どもたちがもう一度行きたい、というので、他の予約をキャンセルしてここにきました」。前日は客が少なかったので、納見園長が案内しながら、子どもたちを乗り物に乗せてあげたのだという。



メリーゴーランド